

平成 21 年度研究交流目標

平成 21 年度は本研究事業の 2 年目になる。今年度の研究目標は以下の通りである。

共同研究

共同研究として取り組んでいる「発達障害児の親支援のための調査」(3 カ国国際比較研究)の先行研究を引き続きすすめていく。日本チームは、昨年度の先行研究をふまえ本研究に入る。中国チーム、ベトナムチームは先行研究をすすめセミナー等で報告する。3 カ国の先行研究が出そろった時点(2009 年 11 月の第 4 回セミナーを予定)で、比較研究を行い、本調査へとすすむ予定である。日本国内においても(研究者、留学生)中国チームやベトナムチームと比較研究の作業チームを発足させる予定である。

セミナー

平成 21 年度は、第 3 回「東アジアの発達障害児のための治療教育プログラム開発に関するセミナー」を 6 月 2 日から 4 日の予定でハノイ師範大学(ベトナム)で実施する予定である。また、第 4 回を 11 月中旬に同じくハノイ師範大学で実施する予定である。

セミナーでは、上記の国際共同研究「発達障害児の親支援のための調査」(3 カ国の比較研究)に加えて「発達障害児の早期発見・早期対応プログラム開発」の実情の研究交流、「発達障害児の個別指導計画(IEP)の作成のための理論と実際」の研究交流などを柱に研究交流をすすめる。

その他の活動

今年度に引き続き、上記セミナーに加え日本、中国、ベトナムの 3 カ国の若手研究者(大学院生を含む)の研究交流をすすめていきたい。当面、2009 年 8 月および 2010 年 2 月の夏期休暇、冬期休暇の時期を活用して、3 カ国の研究交流をすすめていく予定である。

また、3 カ国が協力して現場の教員、指導者を対象としたワークショップの開催などを検討する。